

信州大学小児科に通院中または過去に通院・入院された  
患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年9月15日

「リン酸修飾したアレルゲンとアレルギー疾患発症者の血清 IgE 抗体との反応性の検証および交差反応性プロファイルの作成」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5606
研究課題名	リン酸修飾したアレルゲンとアレルギー疾患発症者の血清 IgE 抗体との反応性の検証および交差反応性プロファイルの作成
所属(診療科等)	農学部生命機能科学コース
研究責任者(職名)	片山茂(教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2025年3月31日
研究の意義、目的	食物アレルギーの中でも耐性を獲得しにくいソバアレルギーに着目し、原因タンパク質(アレルゲン)である Fag e 2 のリン酸修飾体がアレルギー性を低減させることや、動物モデルのアレルギー症状を抑制させることを見出しました。しかし、本手法がソバ以外のアレルゲンに応用可能であるかは不明です。 アレルギー疾患発症者の血清 IgE とリン酸修飾アレルゲンとの反応性を測定し、リン酸修飾が食物アレルゲンの抗体結合能に及ぼす影響を検討します。併せて、アレルゲンが判明している患者血清と様々なアレルゲンの交差反応性プロファイルを作成し、単一のリン酸修飾アレルゲンによって交差性の高い複数のアレルギーに対して免疫寛容誘導が得られるかを検討します。
対象となる方	2022年4月1日～2024年3月31日までの期間に当院小児科を受診し、以下の選択基準を満たす患者さん。 選択基準 ① 何らかの食物アレルギーの診療のため当科を受診した方 ② 既に診療の一環として血液検査が実施されており、追加解析に必要な量の血清が院内検査科に保存されている方
利用する診療記録／検体	利用する診療記録 (1) 被験者背景:年齢、性別、アレルギー疾患合併の有無 (2) アレルギーの原因抗原、アレルギー症状のタイプ (3) 白血球数、末梢血好酸球分画、数、血清総 IgE 値、抗原特異的 IgE

	利用する検体 残血清
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	郵送、電子的配信により提供を受けます。
研究方法	残血清を用いてアレルゲン又はアレルゲンのリン酸修飾体との反応性を測定します。
共同研究機関名	信州大学(責任者:片山 茂) 長野県立こども病院小児アレルギーセンター(責任者:伊藤靖典)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:片山 茂
問い合わせ先	氏名(所属・職名):丸山悠太(小児科・医員) 電話:0263-37-2642

**既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。**

**患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。**研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。